



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 株式会社ティラド
 コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嘉納 裕躬
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 百瀬 芳孝
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3373-1101

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,040	4.3	727	△36.8	982	0.2	759	68.1
23年3月期第1四半期	20,155	48.5	1,150	—	980	—	451	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,157百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.36	9.03
23年3月期第1四半期	6.34	5.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	64,229	34,611	52.2
23年3月期	63,406	33,343	51.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 33,533百万円 23年3月期 32,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		4.00	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,300	5.0	1,800	△14.8	2,100	6.3	1,600	19.9	19.46
通期	91,900	10.1	4,100	△13.9	4,700	△5.0	4,000	△5.8	48.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年6月20日に公表いたしました通期業績予想を、本日(平成23年8月9日)別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」により変更しております。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	83,444,057 株	23年3月期	81,777,391 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,262,720 株	23年3月期	1,261,483 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	81,070,670 株	23年3月期1Q	71,194,354 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、通期業績予想の一株当たり当期純利益に関しましては、6月までの新株予約権付社債の転換の実績を踏まえた平均株数で計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
5. 補足情報	14
販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、国内においては、震災によるサプライチェーンの寸断により、生産は大きく減少しましたが、供給面の制約が和らぐ中で、回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループの売上は、国内については東日本大震災の影響による完成車メーカーの生産減少により、自動車用の売上が大きく減少しましたが、建設産業機械用は影響が少なく、復興需要も若干含めて増加となりました。海外においては、震災の影響が期ずれにより反映されていないため、自動車用と建設産業機械用を中心に好調を維持しており、この結果、連結売上高は国内の減少分を補って、前第1四半期連結累計期間比（以下略：前年同期比）増加となりました。

利益面については、震災による国内売上の減少はありましたが、為替差損の減少、減損損失等の特別損失の減少、法人税等の減少などにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比884百万円増加し、21,040百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は前年同期比423百万円減少し、727百万円（前年同期比36.8%減）、経常利益は前年同期比2百万円増加し、982百万円（前年同期比0.2%増）、四半期純利益は前年同期比307百万円増加し、759百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

セグメントごとの販売状況は次のとおりであります。

① 日本

自動車用につきましては、東日本大震災の影響による完成車メーカーの生産減少により、前年同期比で大きく減少しました。建設産業機械用につきましては、震災の復旧は自動車に比べて早く、また復興需要なども出てきており、増加となりました。空調機器用につきましては、震災の影響を受けておらず若干の増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比696百万円減少し、12,910百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

② 米国

自動車用につきましては、得意先の新機種増加と販売の回復により増加となりました。また、建設産業機械用につきましても販売回復により増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比420百万円増加し、2,503百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

③ 欧州

自動車用につきましては、ロシアでの生産増加などもありましたが、ほぼ前年並みとなりました。建設産業機械用につきましては、需要の緩やかな回復により増加となり、空調機器用につきましても、前年並みを確保しております。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比105百万円増加し、1,475百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

④ アジア

タイにおいて自動車用が新規得意先の受注等により大幅な増加となり、建設産業機械用についても受注好調により大幅に増加となりました。また、空調機器用につきましても増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比672百万円増加し、2,357百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

⑤ 中国

自動車用・建設産業機械用は、引き続き受注が堅調により増加となりました。空調機器用につきましても得意先の特需により増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比284百万円増加し、1,488百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

⑥ その他

その他のセグメントにつきましては、前年同期比97百万円増加し、306百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（連結貸借対照表）

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は35,001百万円となり、対前連結会計年度末比で、731百万円増加しました。海外子会社の売上増加による受取手形及び売掛金の増加（1,049百万円の増加）が主な要因であります。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は29,227百万円となり、対前連結会計年度末比で、90百万円増加しました。時価の下落等による投資有価証券の減少（345百万円の減少）はありましたが、設備投資による有形固定資産の増加（469百万円の増加）が主な要因であります。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は21,412百万円となり、対前連結会計年度末比で、123百万円減少しました。支払手形及び買掛金の増加（1,338百万円の増加）はありましたが、返済等による短期借入金の減少（716百万円の減少）、賞与引当金の減少（705百万円の減少）が主な要因であります。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は8,204百万円となり、対前連結会計年度末比で、322百万円減少しました。主に、新株予約権付社債の転換による減少（515百万円の減少）によるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は34,611百万円となり、対前連結会計年度末比で、1,268百万円増加しました。利益剰余金の増加（356百万円の増加）及び新株予約権付社債の転換に伴う資本金と資本剰余金の増加（それぞれ250百万円、272百万円の増加）が主な要因であります。

（連結キャッシュフロー計算書）

当第1四半期連結会計期間末における現金および現金同等物の残高は、6,097百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、795百万円のプラスとなりました。これは、賞与引当金による705百万円の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益966百万円と減価償却費929百万円が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、348百万円のマイナスとなりました。これは、主に投資有価証券の売却による309百万円の増加はありましたが、有形固定資産の取得で726百万円減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,033百万円のマイナスとなりました。これは、主に短期、長期借入金及びリース債務が630百万円減少したこと、及び配当金を402百万円支払したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想におきましては、平成23年6月20日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成23年8月9日）別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる影響については、軽微なため記載しておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,370	6,059
受取手形及び売掛金	19,082	20,131
有価証券	1,397	97
商品及び製品	1,728	1,999
仕掛品	442	568
原材料及び貯蔵品	2,790	2,805
繰延税金資産	1,346	1,460
その他	2,138	1,907
貸倒引当金	△27	△28
流動資産合計	34,269	35,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,735	5,744
機械装置及び運搬具（純額）	8,193	8,274
土地	2,082	2,109
リース資産（純額）	828	755
建設仮勘定	660	1,035
その他（純額）	1,278	1,327
有形固定資産合計	18,778	19,248
無形固定資産		
のれん	18	18
リース資産	0	—
その他	793	770
無形固定資産合計	812	789
投資その他の資産		
投資有価証券	8,502	8,156
長期貸付金	4	3
繰延税金資産	35	26
前払年金費用	—	10
その他	1,046	1,037
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	9,545	9,190
固定資産合計	29,137	29,227
資産合計	63,406	64,229

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,871	11,209
短期借入金	6,321	5,605
リース債務	404	393
未払法人税等	335	376
未払費用	1,899	1,739
賞与引当金	1,332	627
役員賞与引当金	74	17
製品保証引当金	112	85
設備関係支払手形	128	114
その他	1,056	1,244
流動負債合計	21,536	21,412
固定負債		
新株予約権付社債	1,248	732
長期借入金	3,583	3,877
リース債務	1,176	1,101
繰延税金負債	2,036	2,007
退職給付引当金	177	184
役員退職慰労引当金	6	5
資産除去債務	85	85
その他	212	210
固定負債合計	8,526	8,204
負債合計	30,063	29,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,295	8,545
資本剰余金	7,200	7,473
利益剰余金	18,995	19,351
自己株式	△394	△395
株主資本合計	34,097	34,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	512	344
為替換算調整勘定	△2,271	△1,787
その他の包括利益累計額合計	△1,758	△1,442
新株予約権	145	144
少数株主持分	858	933
純資産合計	33,343	34,611
負債純資産合計	63,406	64,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	20,155	21,040
売上原価	17,502	18,760
売上総利益	2,652	2,280
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	302	328
給料及び手当	297	296
賞与引当金繰入額	72	111
役員賞与引当金繰入額	11	17
退職給付引当金繰入額	24	24
福利厚生費	141	172
研究開発費	218	154
その他	435	447
販売費及び一般管理費合計	1,502	1,553
営業利益	1,150	727
営業外収益		
受取利息	3	14
受取配当金	66	64
持分法による投資利益	158	183
為替差益	—	9
匿名組合投資利益	—	8
その他	31	32
営業外収益合計	259	313
営業外費用		
社債利息	26	7
支払利息	64	40
投資有価証券評価損	82	—
投資有価証券売却損	—	4
為替差損	216	—
デリバティブ評価損	29	—
その他	10	4
営業外費用合計	429	57
経常利益	980	982
特別利益		
固定資産売却益	15	0
その他	0	1
特別利益合計	15	1

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	16
減損損失	56	—
持分変動損失	32	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	72	—
その他	—	0
特別損失合計	166	18
税金等調整前四半期純利益	829	966
法人税、住民税及び事業税	75	209
法人税等調整額	291	△18
法人税等合計	367	191
少数株主損益調整前四半期純利益	462	774
少数株主利益	10	15
四半期純利益	451	759

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	462	774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△650	△168
繰延ヘッジ損益	8	—
為替換算調整勘定	159	522
持分法適用会社に対する持分相当額	7	27
その他の包括利益合計	△475	382
四半期包括利益	△13	1,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40	1,074
少数株主に係る四半期包括利益	27	82

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	829	966
減価償却費	995	929
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△2	△0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△32	△19
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△346	△705
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	9	△56
製品保証引当金の増減額（△は減少）	15	△27
受取利息及び受取配当金	△68	△77
支払利息	90	48
持分法による投資損益（△は益）	△158	△183
有形固定資産除却損	5	16
有形固定資産売却損益（△は益）	△15	0
売上債権の増減額（△は増加）	△1,804	△853
たな卸資産の増減額（△は増加）	△365	△521
仕入債務の増減額（△は減少）	920	1,192
有価証券売却損益（△は益）	—	4
有価証券評価損益（△は益）	82	0
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△434	279
その他の流動負債の増減額（△は減少）	488	15
その他	199	△77
小計	408	929
利息及び配当金の受取額	155	79
利息の支払額	△69	△39
法人税等の支払額	△36	△174
営業活動によるキャッシュ・フロー	458	795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△485	△726
有形固定資産の売却による収入	80	3
投資有価証券の取得による支出	△18	△37
投資有価証券の売却による収入	1	309
その他	△81	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△503	△348

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,515	△268
長期借入れによる収入	68	300
長期借入金の返済による支出	△64	△561
少数株主からの払込みによる収入	166	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△142	△402
その他	△126	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	△1,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	88
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,628	△498
現金及び現金同等物の期首残高	7,515	6,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,886	6,097

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,606	2,082	1,369	1,684	1,203	19,947	208	20,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	822	12	9	76	16	937	698	1,635
計	14,428	2,095	1,379	1,761	1,219	20,884	906	21,791
セグメント利益 又は損失（△）	765	40	△67	186	205	1,129	56	1,186

（注）「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,129
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	△35
四半期連結損益計算書の営業利益	1,150

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「欧州」セグメントにおいて、56百万円の減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,910	2,503	1,475	2,357	1,488	20,734	306	21,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	777	10	23	39	72	922	609	1,532
計	13,687	2,513	1,498	2,396	1,560	21,656	916	22,572
セグメント利益 又は損失（△）	5	127	△60	340	246	659	49	709

（注）「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	659
「その他」の区分の利益	49
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	727

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月20日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部行使により、当第1四半期連結会計期間において資本金が250百万円、資本準備金が272百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が8,545百万円、資本準備金が7,306百万円となっております。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

販売の状況（連結）

（単位=百万円）

営業年度 用 途	当第1四半期連結 累計期間 (平成23年4月1日 ～平成23年6月30日)		前第1四半期連結 累計期間 (平成22年4月1日 ～平成22年6月30日)		差 引		前連結会計年度 (平成22年4月1日 ～平成23年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
自動車用	9,281	44.1	10,028	49.8	△747	△ 7.5	39,016	46.8
建設産業機械用	7,797	37.1	6,582	32.7	1,214	18.5	28,401	34.0
空調機器用	2,679	12.7	2,445	12.1	233	9.6	11,273	13.5
その他	1,282	6.1	1,098	5.5	183	16.7	4,746	5.7
合 計	21,040	100.0	20,155	100.0	884	4.4	83,437	100.0

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。